

簡潔かつ自然に証を分かち合う

簡潔にする。証は「証を述べたいと思います」という言葉で始める必要はありませんし、「イエス・キリストの御名によって、アーメン」で終わる必要もありません。証とは、聖霊の証を通してわたしたちが信じ、真実であると知っていることを表すことです。

自然な会話の流れに合わせる。進んで分かち合いたいという気持ちがあれば、日常の会話に証を織り込む機会は周りにたくさんあります。例えば、アルコールを飲まない理由をだれかに尋ねられたら、知恵の言葉に従って生活して自分の生活がどのように祝福されたかを伝えるとよいでしょう。

経験を分かち合う。わたしたちは試練について話し合うことがよくあります。だれかにその人が直面している問題を打ち明けられたら、神が試練のさなかにあった自分を助けてくださったときのことを伝え、神はその人も助けてくださる、わたしはそう確信している、と証するとよいでしょう。

常に救い主とその教義を中心に据える。M・ラッセル・バラード会長は、「キリストの純粋な証を述べられているときに、御霊を制止することはできない」と強調しました。（「純粋な証『リアホナ』2004年11月号、41。「もっと自然に証を分かち合う方法」『リアホナ』2019年3月号、8-11も参照）

簡潔にする。証は「証を述べたいと思います」という言葉で始める必要はありませんし、「イエス・キリストの御名によって、アーメン」で終わる必要もありません。証とは、聖霊の証を通してわたしたちが信じ、真実であると知っていることを表すことです。

自然な会話の流れに合わせる。進んで分かち合いたいという気持ちがあれば、日常の会話に証を織り込む機会は周りにたくさんあります。例えば、アルコールを飲まない理由をだれかに尋ねられたら、知恵の言葉に従って生活して自分の生活がどのように祝福されたかを伝えるとよいでしょう。

経験を分かち合う。わたしたちは試練について話し合うことがよくあります。だれかにその人が直面している問題を打ち明けられたら、神が試練のさなかにあった自分を助けてくださったときのことを伝え、神はその人も助けてくださる、わたしはそう確信している、と証するとよいでしょう。

常に救い主とその教義を中心に据える。M・ラッセル・バラード会長は、「キリストの純粋な証を述べられているときに、御霊を制止することはできない」と強調しました。（「純粋な証『リアホナ』2004年11月号、41。「もっと自然に証を分かち合う方法」『リアホナ』2019年3月号、8-11も参照）